



大阪国際空港が2年連続定時運航遵守率世界第1位

～「OAG Punctuality League 2015」～

世界の航空関連情報を提供するOAG(※1)が実施した定時運航遵守率ランキング調査「OAG Punctuality League 2015」(※2)において、大阪国際空港が小規模空港部門(※3)で世界第1位となりました。

定時運航遵守率世界第1位は、2015年に続き2年連続となり、昨年の93.2%から本年は93.85%とさらに定時性が向上しています。

お客様をお待たせしない、ご利用いただきやすい空港であるために、お客様に接するスタッフだけでなく、航空機運航を直接支えるスタッフなど、あらゆる空港関係者のチームワークが定時運航につながり、評価をいただいたことを大変光栄に受け止めております。

今回の結果を励みに、定時運航の確保を通じて、お客様が安心してご利用しやすい空港づくりを、関係者一丸となって努力してまいります。

2016年2月18日(木)に大阪国際空港にてトロフィーと証明書を授与しました。



(写真左から) 新関西国際空港(株)伊丹空港本部伊丹空港活性化推進ユニット次長 高野 敬二、常務執行役員兼伊丹空港活性化推進ユニット長 小泉 恵次、OAGセールスマネジャー 千葉 隆義(敬称略)

○ 参考 OAG Punctuality League 2015 (2015年平均定時運航遵守率ランキング)
【小規模空港の部】

順位	空港名	国・地域	2015年(暦年) 平均定時運航率
1	大阪国際	日本	93.85%
2	ブリュッセル・サウス シャルルロワ	ベルギー	93.61%
3	トクメン国際	パナマ	92.55%
4	スタヴァンゲル	ノルウェー	91.15%
5	ベルゲン	ノルウェー	90.91%





- (※1) OAG (オフィシャル・エアライン・ガイド) アビエーション ワールドワイドリミテッド社
イギリスに拠点を置く航空機運航情報会社。世界の航空関連データに関する収集や提供を行っている。



- (※2) OAG Punctuality League 2015
2015年(暦年)の世界の定期便運航データから、定時から遅延15分未満に出発/到着した便の割合を算出し、カテゴリー別に定時運航遵守率ランキングをまとめた報告書。
- (※3) 小規模空港
年間供給座席数(出発便)が1,000万座席数未満の空港

